哲學研究

第二十四卷　第一册

第二百七十四號

昭和十四年一月一日發行

普遍學としての數學の成立……文學士　下村寅太郎

世界像のトポロギー試論……文學士　上井虎賀壽

疑へないもの……文學士　山田次郎

京都帝國大學
昭14. 1. 12
圖書利用

京都帝國大學文學部內

京都哲學會

京都哲學會規則

第一條　本會ヲ京都哲學會ト稱ス

第二條　本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス

第三條　本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、毎月一回研究會ヲ開ク

一、毎年公開講演會ヲ開ク

一、毎月一回哲學研究ヲ發行ス

第四條　本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク

第五條　本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク

一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス

第六條　本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得

學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得

第七條　會員ハ會費トシテ年五圓、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス

第八條　會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク

第九條　本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士　天野貞祐

文學士　臼井二尚

文學士　上野照夫

文學博士　植田壽藏

文學博士　小島祐馬

文學士　高山岩男

文學博士　木村素衛

文學博士　九鬼周造

文學博士　田邊元

文學士　西谷啓治

文學博士　野上俊夫

文學博士　羽溪了諦

文學士　服部英次郎

文學士　久松眞一

文學博士　本田義英

文學博士　山内得立

前號目次

行爲と論理……（承前）……文學士　島　芳夫

マクス・シエーラーの政策論と政治論（承前）……文學士　田中　熙

アリストテレスに於ける認識論的思想の發展（承前）……商學士　藤井義夫

會告

一、本會ヘ入會希望者ハ京都市西洞院七條南內外出版印刷株式會社內京都哲學會宛テニ規定ノ會費（前表紙裏ニアリ）御納付ノ上御申込被下度候

一、會員ニシテ轉居入退會等（編輯事務以外ノ一切）ノ事務ハ內外出版印刷株式會社內京都哲學會ヘ御通知被下度候

一、會費ハ**振替口座大阪三〇六六三番** 內外出版印刷株式會社內京都哲學會宛テニ御拂込被下度候

一、前金切レノ場合ハ帶封ニ「**前金切**」ノ印章押捺致スベキニ付直ニ御拂込下サレ度候

一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學文學部內 **京都哲學會**

註文規定

◆會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は**內外出版印刷株式會社**へ御申込下され度候

◆本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下され度く候

◆振替貯金にて御送金の際は（**振替京都三九三一番大阪三九三一番東京三九三一番**）內外出版印刷株式會社宛に願上候

◆特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定價

冊數	定價	郵稅
一冊（前金）	金四拾五錢	金壹錢五厘
六冊（前金）	金貳圓七拾錢	不申受
十二冊（前金）	金五圓四拾錢	不申受

廣告料

一頁 金參拾圓　半頁ハ取扱不申

昭和十三年十二月廿五日印刷納本
昭和十四年一月一日發行第二百七十四號第二十四卷第二冊

京都帝國大學文學部內
編輯者 京都哲學會

右代表者 服部英次郎
發行者 須磨勘兵衛
印刷者 須磨勘兵衛 京都市北小路通新町西入
印刷所 內外出版印刷株式會社 京都市西洞院通七條南入

不許複製
禁轉載

發行所 京都市下京區西洞院七條南 內外出版印刷株式會社
振替口座 京都三九三一番 大阪三九三一番 東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南入 內外出版印刷株式會社

賣捌所
（東京）寶文館 北隆館
（大阪）寶文館 盛文館
（神戸）寶文館 川瀨書店
（京都）大文社 大盛社
東京堂 東海堂 上田屋 參文社

（大正五年四月六日第三種郵便物認可）昭和十三年十二月二十五日印刷納本（毎月一回一日發行）昭和十四年一月一日發行　哲學研究　第二百七十四號　定價金四拾五錢　郵税金壹錢五厘

新刊

人格と人類性

東京帝大教授・文博
和辻哲郎著

菊判縦組二二六頁
布裝上製函入
定價一・五〇　送料二一

和辻倫理學は今や、日本に於ける最初の獨創的な學的倫理學體系として、その體系を完成しようとしてゐる。本書はその體系の書たる「倫理學」上卷の補説としての意味をもつものである。ここでは著者はカントやシェーラーやリットやブルンナーやゴーガルテンやローゼンベルクなど、昔の、今の、諸學者の中に先づ深い理解をもつて入り込み、そこから問題を掴み出し、それを自己の問題として原著者と對質してゐる。この著者が、天才的直觀の人たる半面、周到綿密な書齋の研究の人である、往々にしてこの著者について看過される點が、ここではよく示されてゐる。

内容概略　カントに於ける「人格」と「人類性」　人間存在考察の出發點について　實質的價値倫理學の構想　辯證法的神學と國家の倫理　佛教哲學に於ける「法」の概念と空の辯證法

和辻哲郎著

風土　人間學的考察　菊判　四一四　二・五〇　三三

人間の學としての倫理學　岩波全書　八・〇〇　〇九

倫理學　上卷　菊判　五五二　三・〇〇　三三

面とペルソナ　四六判　三〇六　一・六〇　二一

東京神田　一ツ橋　岩波書店　振替東京　二六四〇